

令和2（2020）年度豊橋技術科学大学体験実習生の募集について（専攻科生）

本学では、学校教育の充実及び学生の学習意欲の喚起等を目的として、高等専門学校生を対象とした教育研究分野の実習を行っています。受入期間、申込方法等を以下に示しますので、内容・条件をご確認の上、申し込んでください。受入テーマ等の詳細は本学高専連携推進センターHP（以下）を参照ください。

(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance>)



1 受入期間

- 受入期間：年度内の随時受入（事前に受入教員と相談が必要）
- 令和2（2020）年度の最終締切日：受入希望日の2ヶ月前17：00
高専担当窓口から上記日時までに申込が必要となります。
ただし、以下の本科生体験実習日程での受入を希望する場合は、本科生の締切日（5月28日（木））と同様のため、所属高専の担当窓口の指示に従ってください。

※ 参考

令和2（2020）年度高専体験実習日程（本科生）

日程Ⅰ：8月17日（月）～ 8月21日（金）（5日）

日程Ⅱ：8月17日（月）～ 8月28日（金）（10日）（OCを挟む）

日程Ⅲ：8月24日（月）～ 8月28日（金）（5日）

日程Ⅳ：8月24日（月）～ 9月4日（金）（10日）

日程Ⅴ：8月31日（月）～ 9月4日（金）（5日）

日程Ⅵ：8月31日（月）～ 9月11日（金）（10日）

日程Ⅶ：9月7日（月）～ 9月11日（金）（5日）

※ 日程Ⅱはオープンキャンパス開催日（8月22日（土））を挟む日程です。

2 実習場所

豊橋技術科学大学の各研究室等

3 受入対象及び募集人数

高等専門学校の専攻科生 : 20名程度

4 実習参加要件

- ・ 意欲的に実習に取り組む姿勢があること
- ・ 本学規則を厳守できること
- ・ 指導責任者の指示に従うこと

5 受入テーマ

本学高専連携推進センターHPより「令和2（2020）年度 高専生体験実習受入テーマ等一覧」を参照ください。

(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance>)

6 申込方法

実習希望者は、「申込書」様式に必要な事項を入力の上、各高等専門学校の出当窓口を通じて申し込んでください。具体的手順は、以下に示すとおりです。

- ① 実習テーマを選択してください。
※ 受入期間「随時：応相談」のテーマは事前に受入出当教員と相談が必要。
- ② 「申込書」様式(エクセルファイル)を、本学HPからダウンロードしてください。
(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance>)
- ③ 「申込書」様式に必要な事項を入力し、申込書を作成してください。
その際ファイル名は「**高専名氏名(例：〇〇高専〇〇〇〇)**」としてください。
- ④ 「申込書」電子データを**各高等専門学校の体験実習出当窓口に提出**してください。
申込締切日については、所属の高専出当窓口の指示に従ってください。

<注意事項>

- ※1 必ず電子データ(エクセルデータ)で提出してください。
申込書の書式は変更せずに作成してください。

7 受入の可否について

申込者多数の場合は、受入者の調整を行います。

申込書記載の各高専事務出当者を通じて、「受入可否及び宿泊施設」についてメールで先行連絡し、後日、文書で正式通知します。正式通知の際に、詳細な連絡事項等も文書で送付します。

※ 受入可否結果の詳細については開示いたしません。

※ 受入「可」となった実習をやむなく辞退する場合は、速やかに、所属高専の出当出当者に連絡してください。

8 結果報告、評価等

必要に応じ、本学受入教員が、実施状況報告書及び訓練生評価書を作成します。

評価の書式は、原則実習生が持参し、実習初日に本学受入教員に手渡しの上、実習最終日に受領して帰ってください。持参が難しい場合は、高専からメール等で、本学受入教員へ直接送付をお願いします。

9 必要経費

以下の経費は実習生の自己負担となります。

1. 本体験実習に係る交通費
2. 滞在費(学内宿泊施設への宿泊者は、シーツ代400円程度/週を含みます)
3. 食事代
4. 保険料等

10 宿泊施設等

体験実習中の宿泊施設として、本学構内の施設を予定しています。

全て相部屋(2人~6人程度/各室の収容能力により異なります)となります。

長期滞在用の居室ではありませんので、必ずしも満足いただけないかもしれません(個人差あり)。個室利用など、より快適な環境を希望する場合は、後述の市内ホテル等をご利用ください。

また宿泊施設として利用する学生宿舎には、テレビやWi-Fi等のインターネット環境はありません。

※宿泊希望者多数の場合は、宿泊ができない可能性があります。その場合、市内のホテル等(1泊・宿泊のみ:5,000円程度)の情報を大学から紹介しますので、各自で予約を行ってください。(8月下旬の日程は例年希望者超過)



(参考) 学内宿泊可能人数 男子 28人/週
女子 6人/週


<留意事項>

- ・ 実習初日からの宿泊のみ可能です(遠隔地からの参加者で、実習開始日前日の宿泊が必要な場合は、豊橋市内のビジネスホテルをご紹介します)。
- ※ 実習初日の集合時間(本科生日程と同日程で受入の場合)
学内施設宿泊者: 10:00 (宿舎説明会から参加)
自宅通学、ホテル宿泊者: 11:00 (開講式から参加)
- ・ **実習最終日終了後の学内宿泊施設の利用には対応できません。**ただし、日程I参加者で翌日に開催される本学オープンキャンパスに参加を希望する場合のみ、延泊が可能です。
- ・ 実習期間は、本学の夏期休業期間中に重なる部分があるため、食堂、売店等施設の利用ができない日もあります。学内の飲食施設が使えない期間は、大学近くのコンビニエンスストアをご利用ください。
- ・ 寝間着、洗面用具等生活用品は各自持参してください。洗濯設備を使用される場合は、洗濯用洗剤もご準備ください。
- ・ 実習期間中も本学宿舎生が生活をしています。そのため宿舎の施設は宿舎生との共用になります。

<宿泊施設概要>

- ※ **学生宿舎には、テレビ、Wi-Fi等のインターネット環境はありません。**
学生宿舎・非常勤職員等宿泊施設には、ドライヤーはありません。

<p>学生宿舎談話室(男子) 学生宿舎A~D棟(5階建て)の2~4階の談話室を使用予定。 ※エレベータなし</p> 	<p>宿泊費: 光熱水料実費(200円程度/泊) シーツ代(400円程度/週) 定員: 2~3名程度/1室 フローリング又はカーペット、エアコン有り、冷蔵庫無し (電力容量の制約により設置不可) 建物内にトイレ・シャワー・洗面・洗濯設備有り(宿舎生と共用) ※浴室は、学生宿舎共用棟の大浴場を利用</p>
<p>非常勤職員等宿泊施設和室(女子)</p> 	<p>宿泊費: 500円程度/泊 シーツ代(400円程度/週) 定員: 6名程度/1室 和室、エアコン・冷蔵庫・電気ポット有り 建物内にトイレ・浴室(シャワーのみ)・洗面・洗濯設備有り(他の宿泊者と共用) 建物内には、他の宿泊者も滞在する可能性あり</p>

非常勤職員等宿泊施設洋室(女子)	宿泊費：2,500円程度／泊 シングル：5部屋
	室内設備：セミダブルベッド・机・椅子・テレビ・冷蔵庫・電気ポット・洋服ハンガー・ユニットバス・浴衣・バスタオル・フェイスタオル・バスマット・リンスインシャンプー・ボディソープ・ハンドソープ 建物内に洗濯設備有り（他の宿泊者と共用） 建物内には、他の宿泊者も滞在する可能性あり

<体験実習本科生日程外での学内宿泊施設について>

- ・ 専攻科生で本科生体験実習期間外に実習をされる方は、以下の宿泊施設を予定しておりますが、予約で満室の場合は、必ずしもご希望に添えません。ご用意できなかった場合は、各自でホテル等の手配をお願いすることになりますので、ご了承ください。

▽非常勤職員等宿泊施設洋室（宿泊費：2,500円程度／泊 シングル）

<豊橋市内での宿泊について>

- ・ 希望者には、市内のホテル等（1泊・宿泊のみ：5,000円程度）の情報を大学から紹介します。予約は各自で行ってください。

11 その他

- (1) 災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していることが、受入れの条件となります。
- (2) 移動手段は、公共交通機関を利用してください。自動車、バイク、自転車の使用は認められません。実習開始後に自動車・バイク、自転車の使用が判明した場合は、直ちに実習を中止していただきます。
- (3) 実習初日に、事前連絡なく、集合時刻を過ぎても所定の場所に集合しない場合は、実習辞退とみなします。

12 申込及び問い合わせ先

豊橋技術科学大学 高専連携推進センター

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL：0532-44-6596

FAX：0532-44-6547

E-mail：intern@kousen.tut.ac.jp